

木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業 概要説明（静岡県浜松市）

1. 事業概要

事業名	浜松市天竜区における木質バイオマス熱電供給システム導入計画策定事業
検討対象設備等	木質バイオマス（間伐材、剪定枝、流木等）を利用した発電容量1,500kW以下のバイオマス熱電併給システム
平成30年度 補助金交付予定額	19,452,000円
事業内容	浜松市天竜区エリアを対象に、浜松市森林情報システム等を活用し、賦存量の推計を行う。利用可能量については、佐久間病院での活用を前提に、前述のシステム等の地理的な情報に加え、森林組合等林業関係者へのヒアリングを踏まえて算出する。昨年度実施した森林資源調査の結果も参考にする。 また、本事業では、過去の間伐により林内に切り捨てられている間伐材の搬出方法についての検討や間伐材に対して支払われる価格と搬出可能な量の関係についても調査を行う。 併せて、①家庭の剪定枝、②ダムの流木、③配電線保安剪定枝や伐採木についても調査を行う。

2. 設備導入予定等

設備導入時期	（導入時期）平成32年12月 （スケジュール） ・設備導入のための調査：～平成31年2月 ・事業実施主体の形成：平成31年4月～平成31年9月 ・設備の詳細設計：平成31年7月～平成31年12月 ・資金調達の調整：平成32年1月～平成32年6月 ・設備運用の体制整備：平成32年1月～平成32年6月 ・設備の施工・導入：平成32年7月～平成32年12月
CO2削減効果	約1,600t-CO2／年
生物多様性保全効果	本市に設備が導入され、木質バイオマス資源の需要が生まれることで、特に地域内の人工林での持続的な森林整備が促進される。また、森林整備が進むことで、市の天然記念物であるギフチョウをはじめとした多様な生物の生息域の確保できるとともに、棲み分けが進み、ニホンイノシシやニホンザルによる農業被害の軽減も期待できる。